

小田 仁志氏

水道用バルブメーカーより厳しい業況を余儀な
清水合金製作所(滋賀)くされているが、水道事
業分野では年度予算
景は、創業以来、時代 動いているので、それほ
の流れとともに「水」とど大きな落ち込みには至
「自然」を見つめながら
水道事業の多様なニーズ
工期遅れはあるものの、
コロナ禍の中では大変恵
に恵ってきた。
コロナ禍の影響を受け



強靱・安全・持続の水道ビジョン
差別化商品を常に提案



まれており、製造現場も
影響なく稼働できたこと
は大きい」

貴社は水道施設用
バルブの小・中口径弁を
得意としており、日本水
道協会の弁類検査台数で
は上位にある。

「管工機材・設備機器
業界において建設や工場
設備分野ではコロナ禍に
数多く、成長を続けてい

水的全シーンに貢献へ

浄水処理装置も提案

「水道のバルブメーカー
は限られた市場の中で
新商品は3割を超える
いきたい」

— 親会社のキッツは、山間地にある小規模
総合バルブメーカーとし
て様々な流体を対象とし
た機器を扱っており、そ
ルブメーカー。
「キッツグループ傘下
の健康被害の不安など、
リプトスボリジウムによ
り、小規模水通用に浄水
用バルブだけ業績を伸
ばすのは将来的に難し
い。浄水処理装置の拡販
はひとつの生命線であ
る。浄水場も人口減少と
い」

が、今後も強靱・安全・
持続という水道ビジョン
に沿った商品開発を推し
進めていく必要がある。
に沿った商品開発を推し
進め売り上げを伸ばして
「今後、水道用浄水
分散化したシステムで可
能な企業をめざしたい」

「パイプがどう進化し
ていくかを意識しなが
らバルブに求められてい
る。ニーズは何かを常に考
えないといけない。当面
は国内での需要に對して
安心・安全な水を供給す
るという使命のもと、水